

進路だより

第1号
令和元年7月19日
編集発行
いわき光洋高校
進路指導部

進路ガイダンス開催

—33のブースに分かれて実施—

今年も六月十一日(水)

進路ガイダンスが開催されました。対象は五・六校時が二・三年生、放課後は一年生も自由に参加できる形式となりました。

参加校は大学一七校、短大七校、その他専門学校等の先生方から、学部学科の紹介などをしていただきました。就職希望の生徒には、本校進路アドバイザーの方から、最近の就職状況について講話がありました。

来校していただいた学校は、本校から例年進学しているところが多く、生徒の皆さんはそれぞれの学校の特徴や入試制度

推薦入試では、体験授業に参加したかどうか、またその感想などを聞かれることがあります。学科の内容が自

トやネットの情報は、一般受けする内容が多いもの。できれば最寄りの駅から歩いてみて、入学後の生活をイメージしてみましよう。

オープンキャンパスに行こう!

一学期に入ると、特に三年生は模

分の志望にぴったり一致するかも、担当の先生に聞くのもひとつです。周辺の生活環境

学校案内のパンフレットを探そう!

志望学科の体験授業

夏この時期は、オープンキャンパスが数多く開催されます。チェックポイントは?

オープンキャンパス

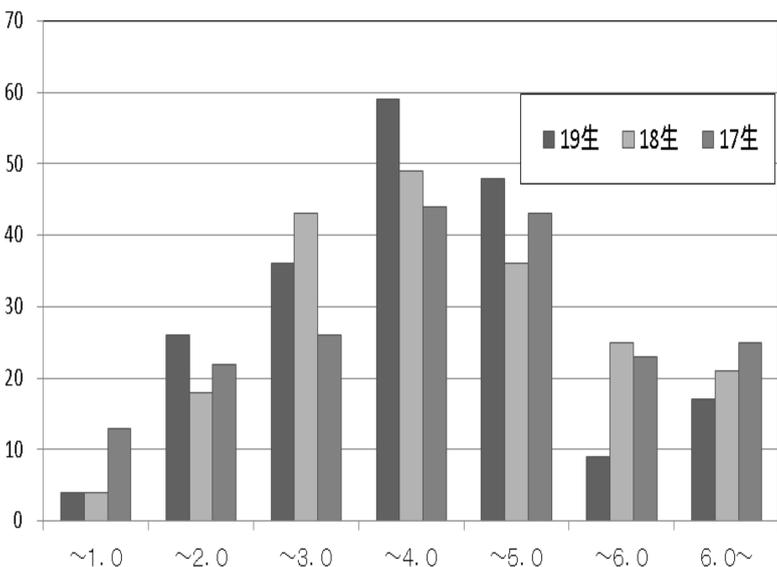
はお祭りの催されることが多いもの。その雰囲気や校舎、校風や大学のレベルを感じ取りましょう。



の説明に、熱心に耳を傾けていました。以下に参加した生徒の声を紹介します。◎同じ学部でも、いろいろな分野があるということが分かり勉強になりました。

◎奨学金や特待生制度について詳しく説明していただいたので、自分も頑張って学業特待生を目指そうと思います。◎AO入試の内容は学校によってまちまちなので、実際の内容を聞くことができて参考になりました。生徒の皆さんは、これからも進んで情報を手に入れ、進路研究を深めましょう。

第一回学習時間量調査



五月十五日から二十一日にかけて行われた学習時間量調査の結果がまとまりました。グラフの縦軸は人数を、横軸は時間を表しています。平均学習時間は次のとおりです。
【19生】三・六〇時間
【18生】三・八八時間
【17生】三・九二時間
平均学習時間を年次推移で見ると、18生が昨年同期の三・四四時間から、〇・四四時間増、17生が昨年同期の三・五二時間から、〇・四〇時間増と、学年が上がるにつれ学習時間が長くなっています。また、一日の学習時間が五時間を超えた生徒も



夏期課外を有効に! いよいよ来週から夏期課外がスタートします。【三年生】サマーセミナーとして、七月中は地歴公民、理科が、八月に入り英国数の課外が行われます。地歴公民、理科はこの夏期休業中に、ひととおり学習を終えるよう計画し、実

行しましょう。【一・二年生】夏期課外として七月いっぱい実施されます。課外の学習に合わせてお盆前に不得分野を克服しましょう。お盆明けは二期の予習を。英単語・熟語集も休みにひくとおり覚え直しましょう。



この結果について、進路指導主事の鈴木聡先生は、「それぞれの年次に応じた学習時間がおおむね確保されています。ただ、調査前でも学習時間が二時間に満たない生徒が各年次に相当数います。部活動をやっている生徒は大変だと思いますが、普段から調査前の意気込みで学習に励んでもらえば、さらに進路実現に近づくのではないのでしょうか。」と述べています。忙しい毎日を通している人ほど細かな時間を無駄にせず、学習時間を確保したいものです。

入試の現状と心がまえ

進路指導主事 鈴木 聡

社会の変化に対応するかたちで大学の施設や学部学科の増設等が行われ、入学定員が増える傍ら、少子化の影響により受験者は減少の一途をたどり、大学の総定員数と志願者数がほぼ一致する「大学全入時代」が到来しました。

そして現状は、定員割れの大学が出る一方で、国立大は堅調に志願者を集めています。また首都圏の私立大学入試では、政府の方針によって「定員厳格化」が進められ、本校の卒業生たちも、ここ数年苦戦を強いられています。さらに二〇二一年度の大学入試改革を直前に控えて、来年度の大学入試は「安全志向」が一層強まると予想されています。

しかし、このような状況下であっても「入れそう

大学を受験する」とか「指定校枠があるから推薦を狙う」など消極的な進路選択は勧められるものではありません。進路選択の第一歩は自己を深く掘り下げ、自分の興味・関心はどこに向いているのか、適性はあるのか、その学問を探究していこうとする行動力や学力がどれだけあるかを見極めることです。

日々の生活のあらゆる場面（各教科の授業、部活動、LHR、学校行事、校外での諸活動等）での自己の取組みを客観的に振り返るとともに、大学のウェブサイトに案内パンフレットでの情報検索、オープンキャンパス参加による実体験（表面のコラム参照）をとおして、自分に合った進路先を見つけていきましょう。



さあ始めました！
新企画「マイ・ハイスクール・デザイン」。ネーミングは英語科滝口先生。案内役は私たち



光ひかりと 洋ひし

初回の登場はこの方、音楽科の阿部先生だー！

先生、最近髪型が落ち着いてきましたね。

陶いきなりなんですか？それ。(笑)

春の頃はけっこう迷走してたんですけどよ。

お前女だったのか？イフストがビミョー！

これでもネット中探し回ったんだよ！ところで阿部先生、高校時代はどんな毎日？



陶と三味線が生活者だったという環境。陶は指導者の資格をお持ちです。

陶正直、勉強があまり得意でなかった。吹奏楽部の練習や、合唱部の伴奏などに打ち込んだり、各ステージョンを回って先生方におやつを頂いたり、そんな毎日でした。

友人にも恵まれ、学校に行きたくないと思っただけは一日もないうらい楽しかったです。

その中でも、特に思い出やエピソードなどあったら教えてください。

陶数えきれませんが、三年次の校内文化祭です。

閉奏式では、当時の保健の先生とサプライズ演奏を行いました。先生が歌で、私がピアノを弾き、とても盛り上がりました。

またクラス(3E)の出し物では、トムとジェリー風のダンス劇を行い、私はボス猫の役でした。全員で派手なメイクをして張り切ってやった結果、最優秀賞を頂きました。

阿部先生がボス猫？だいぶボス感出たでしようね？

変なつっこみいらないから！

それで先生が進路を具体的に考えたのはいつ頃でしたか？

陶教員という目標は中学生の頃からありましたが、音楽科の教員を目指す気持ちは固まつたのは、高校三年生の一学期だったと思います。

きっかけは、当時の音楽の先生との出会いです。音楽の先生が市内の演奏会に私を出演させてくださったり、校内でコンサートを企画してくださったりと、人前で音楽をする喜びを味わわせてくださいました。そこで私も先生のように

な生徒の可能性を引き出す教員になりたいと思いましたが。

教員というお仕事って、やってみると実際どうですか？

陶人を相手にしているの、一日として同じ日はないということ、生徒と共に音楽をとおして成長できていると実感しています。予測不可能なことや、大変なことともたくさんありますが、周りの人たちに助けられ楽しい毎日です。

模範的な回答だな。文句のつけようがない。

だからその変なつっこみやめなさいってば！

では先生、教員でなかったら、他に何を？

陶実際、教員以外考えられませんが、強いていうならば海外で暮らしながら日本文化を伝える職業でしようか。ヨーロッパにいた経験があるのでそれが大きいと思います。

それでは最後に、これから進路に挑む生徒たちに、激励のメッセージをドーンとお願います！

陶私は震災で大きなダメージを受けましたが、震災がきっかけで、人と人とを結び音楽の力を再認識し、様々な人との出会いでここまで来ることができました。生徒の皆さんが、これから人との出会いやつながりを大切に、心を平和にして、相手も自分も大事にできるよう、音楽を通して伝えたいと思います。

今、みんなの周りで起きている良いこと悪いことは、全てに意味があります。たとえば、悪い部分に焦点をあて、そればかりにしがみつくことなく、今の状況を受け入れ、自分も抱きしめてあげましょう！自分を信じて、「わくわくする心」をもって行きましよう！

「できなかったらどうしよう」より「できちゃったらどうしよう！」って考えてみましよう！

難関を突破して、音楽を愛する心を職業に結びつけた阿部先生。その努力は人並みではなかったはずですが、阿部先生、お忙しいとろ、ありがとうございます。

な人との出会いでここまで来ることができました。生徒の皆さんが、これから人との出会いやつながりを大切に、心を平和にして、相手も自分も大事にできるよう、音楽を通して伝えたいと思います。

今、みんなの周りで起きている良いこと悪いことは、全てに意味があります。たとえば、悪い部分に焦点をあて、そればかりにしがみつくことなく、今の状況を受け入れ、自分も抱きしめてあげましょう！自分を信じて、「わくわくする心」をもって行きましよう！

「できなかったらどうしよう」より「できちゃったらどうしよう！」って考えてみましよう！



- 【2学期の主な進路行事】
- 8月30日(金) 第2回学習ガイダンス(18生)
 - 9月5日(木) センター試験校内説明会(17生)
 - 第2回進路希望調査
 - 9月12日(木) 第2回学習ガイダンス(17生)
 - 9月16日(月) 就職試験開始
 - 9月21日(土) センター試験申込校内締切
 - 10月24日(木) 進路講演会
 - 11月7日(木) 医療創生大学訪問(19生)
 - 11月14日(木) 大学模擬授業(18生)
 - 11月21日(木) ~29日(金) 第2回学習時間量調査

それでは最後に、これから進路に挑む生徒たちに、激励のメッセージをドーンとお願います！

陶私は震災で大きなダメージを受けましたが、震災がきっかけで、人と人とを結び音楽の力を再認識し、様々な人との出会いでここまで来ることができました。生徒の皆さんが、これから人との出会いやつながりを大切に、心を平和にして、相手も自分も大事にできるよう、音楽を通して伝えたいと思います。

今、みんなの周りで起きている良いこと悪いことは、全てに意味があります。たとえば、悪い部分に焦点をあて、そればかりにしがみつくことなく、今の状況を受け入れ、自分も抱きしめてあげましょう！自分を信じて、「わくわくする心」をもって行きましよう！

「できなかったらどうしよう」より「できちゃったらどうしよう！」って考えてみましよう！

